

授業と評価の年間計画

教 科	芸術	科 目	美術Ⅲ	
履修条件 対象生徒	選択 普通科 3年			
学習目標	作品制作を通して、感性と美意識を磨き、意欲的、主体的に表現や鑑賞の能力を高め、進路実現が達成できるようにする。進学希望先に応じたレベルの高い作品の制作を目指す。			
学習方法	<p>【授業】 美術・デザイン系の大学進学を目指した生徒を対象に実施する。基本的な物の見方や表現方法からはじまり、最終的に進学希望先の受験内容に合わせた授業内容へと移っていく。</p> <p>【家庭、補習・その他】 授業時間だけでは時間が足りないので、家庭でできる課題（イメージデッサンやデザインの分野における平面構成・イメージ構成）を定期的に出題する。</p>			
学習計画 と ねらい	1 1学期 (1) 期末考査まで ア 鉛筆デッサン（共通） イ 自由制作（選択）		<ul style="list-style-type: none"> 石膏像等をデッサンする。物の見方、表現方法の深化を図る。受験に対応できるようにするため、表現力の強化に努める。 希望大学の入試に課せられる課題に沿った作品を制作する。鉛筆淡彩、平面構成、塑像などデッサン以外の作品を制作する。 1学期末までに完成しない場合は夏休み中の課題になる。 	
	2 2学期 (1) 期末考査まで ア 鉛筆デッサン (ア) 10月末まで 1作品6時間 ・手のデッサン（1作品） ・静物デッサン（2作品） ・石膏デッサン（1作品） ・平面構成（1作品） ・静物淡彩（2作品） (イ) 10月末以降 1作品3時間 ・静物デッサン		<ul style="list-style-type: none"> 3～6時間で1枚の作品を仕上げることを目標にし、鉛筆で石膏像や組静物を描く。物の質感や陰影などをすばやく表現する能力を高めていく。 入試の過去問題などに取り組む。 	
	3 3学期 (1) 学年末まで ア 鉛筆デッサン (ア) 1作品3時間 ・静物デッサン		<ul style="list-style-type: none"> 入試の過去問題などを参考にして、組静物の鉛筆デッサンに取り組む。短い時間ですばやく表現する能力を高める。 	
評価規準	美術への 関心・意欲・態度	発想や構想の 能力	創造的な技能	鑑賞の能力
	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫して表している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	「美術への関心・意欲・態度」「発想や構想の能力」「創造的な技能」「鑑賞の能力」の観点別評価規準をもとに、授業に対する取組や作品などを総合的に判断して評価する。			
そ の 他	美術・デザイン系の大学へ進学を希望している生徒のみの選択になる。			